

授受関係における恩恵方向性転換の日中比較

日本語の授受補助動詞を中心に

周莉莉*

Comparison of Japanese and Chinese about the changing of the direction of grace in the relationship to giving and accepting

With a focus on grants verb of giving and accepting in Japanese

Lili Zhou

Abstract

In the relationship to the direction of giving and accepting, both Japanese and Chinese have common and different points. So they were researched in 『Comparison of Japanese and Chinese about relationship's direction of giving and accepting』. And at the centre of these points of difference what stands out is the changing of the direction of grace. The saying of 「A helps B to do something」 is normal and it has a patronizing sense but the condescending tone is absent in Chinese. On the other hand, in Japanese, in order not to belittle the person you are talking to and thus feel uncomfortable, you must change the direction of grace with the expressions about relationship of giving and accepting.

To be certain, in 『Comparison of Japanese and Chinese about relationship's direction of giving and accepting』, the differences about the changing of the direction of grace were researched from the point of 「～(sa) se te mo ra u/i ta da ku」, and so they will be looked at later from other points of view in this paper.

キーワード：日本語、中国語、比較、恩恵方向性転換、授受関係、授受補助動詞

一、はじめに

授受関係の方向性に関して、日本語及び中国語は共通点を持っていると同時に、それぞれ異なっていると思われる。従って、『授受関係の方向性に関する日中両国語の比較』¹においては、それに関する日中両国語の異同点について考察してみたのである。その相違点の中では、一番目立つところは恩恵方向性の転換であると言える。中国語では「A 帮/为/给 B 何かをする」という言い方は極普通である。そして、このような言い方自身に恩着せがましい意味があるが、中国語ではそれほど強く意識されていないのは事実である。一方、日本語は、相手に恩着せがましい或いは不愉快な感じを全然与えないために、恩恵方向性を持つ授受表現を用いながら、その方向性を適当に変えることによって、相手のことを思いやって、コミュニケーションを用心深く進めていくのである。

* 教養部

ただし、『授受関係の方向性に関する日中両国語の比較』では、ただ「～(さ)せてもらう/いただく」の使い方に視点を置き、日中両国語を比べたのであるので、今度は『中日対訳コーパス』²に収録されている『雪国』、『砂の女』など二十一冊の日本語小説の原文及び中国語訳文を基に、恩恵方向性転換における日中両国語の比較について、日本語の授受補助動詞を中心に、さらに考察を進めていくと共にまとめてみようと思っている。

二、本論

小説の調査結果を手掛かりにして、相手に恩着せがましい感じを与えないためには、どのようにしたらいいか、また日本語らしい表現には日本人のどんな発想が入っているかについて、以下の五つの部分から考察してみよう。

1、「～てあげる/さしあげる」から「～(さ)せてもらう/いただく」へと

- 1) では、あした電話をさせていただきます。
那么，明天我给您打电话。
- 2) お荷物を持たせていただけますでしょうか。
我帮您拿行李吧

例 1)、2) の中国語文は直訳されると、「では、あした電話をしてあげます/さしあげます。」「お荷物を持ってあげましょうか」になってしまうのである。そうしたら、相手のことをどんなに尊敬しても、いくら高く捧げても、やはり自分が恩恵を与えるから相手はその恩に対して感謝すべきだという恩着せがましい感じをもたらすことになってしまうのである。一方、日本語の原文は「～てあげる/さしあげる」の使いを回避し、「～(さ)せていただく」を使い、相手に恩着せがましい感じを与えないだけでなく、かえって相手を授恵側に変え、相手から恩恵を得るように巧みに相手の恩恵負担を減らすようになったと同時に、相手から許可をもらうから感謝あるいは嬉しい気持ちを伝える。このように、日本語では、内から外へとの恩恵移動を外から内へとの移動に変えることは、授受関係における恩恵方向性の転換と言ってもいいであろう。それに対して、中国語では授受関係を表現する際に、恩恵方向性の転換がないのである。恩恵方向性の転換は、他人に対する日本人の思いやりをしみじみ感じさせると同時に、非常にすばらしい言い方であるとも思われている。こういう点では、中国人は相手に恩着せがましい感じを与える本意がないかもしれないが、いつも率直に、また話し手の思い通りに言い出すのが普通のようなのである。その原因は思いやりの発想が中国人の頭にあまり入っていないのではないかと思う。恩恵方向性の転換から生じた思いやりにおいて、日中両国語の異なった表現をもう少し見てみよう。

2、「～する/～お～する(いたす)」から「～せてもらう/いただく」へと

- 3) 弟が今度こちらに勤めさせていただいておりますのですってね。お世話さまですわ。
听说我弟弟到这里来工作，要您多照顾啦。
- 4) 率直に、ぼくの意見を言わせてもらえばだな、こんな家は、ぶつつぶれてしまったほうが、いっそせいせいするだろうと思うんだ！
我说一个老实中肯的意见吧，我觉得，这种房子还是推倒重来才弄得干净。

5) それに、宿泊料も、ちゃんと払わせていただきますしね……もつとも、こっちで勝手に計算させてもらった、実費だけどね……かまわないでしょう？

而且我还要付给你住宿费呢……只能照本来我大致推算的实际费用呀……这可以吧？

6) あら、さくらを見にいらっしゃるんですの？ わたくしお供させていただきますましょうかしら。

哎哟，去赏樱花？我陪您去好吗？

7) 仕事をみせてもらおうと思っておりましたのですが、ついでがあつて越前へ来ましたので、突然うかがわせてもらいました。

我很想见识一下您的作业场，这次顺便来越前，便唐突跑来拜访了。

以上の例では、日本語文の「～（さ）せてもらう/いただく」は他人から許可をもらってから、何かをすることを表すが、中国語文では、「我弟弟到这里来工作」（弟が今度こちらに勤めます）³とか、「我说一个老实中肯的意见吧」（率直に、ぼくの意見を言えばだ）とか、「我还要付给你住宿费呢」（宿泊料も、ちゃんと払いますしね）のように、他人からの許可と全く関係がなく、ただ話し手が進んで何かをしようとする事になっているのである。日本語では、前述した恩恵方向性の転換が、ここにもまた現れてきていると思う。もともとは話し手（或いは話題者）自身が進んで何かをしようとするのであるから、恩恵はもちろん内から外へといく。しかし、他人からの許可をもらってから何かをすることを表現する「～（さ）せてもらう/いただく」を使うと、1 の場合のように、恩恵方向はまた逆に外から内へと移動するようになっている。

また、日常生活では、「本日は休業させていただきます」、「x月x日までお求めいただいた商品を回収させていただきますことと致しました。」⁴のような言い方をよく耳にするが、その店自身の決定、行動なのに、なぜ許可をもらおうとしているかと怪しいと思っている中国人は少なくないようである。実は、こういう言い方は以上の例と同じように恩恵方向性を転換させているのであるが、「休業する」、「商品を回収する」のは、お客さんの許可を得るのではなく、ただその事実をお客さんに知らせるにすぎないから、「本日は休業いたします」、「x月x日までお求めいただいた商品を回収することと致しました」になってもかまわないのである。ただし、「～させていただきます」を使うと、お客さんに知らせると同時に、「休業」、「回収」のことでお客さんに何かの面倒をかけるかもしれないので、何卒その迷惑を許してもらいたいという思いやりを伝えることもできる。しかし、中国語では、やはりこのような恩恵方向性の転換が全然見えない。

3、使役文から「～てもらう」へと

8) 奇妙な男だな。この前も、確か、何かさがしてもらった。

好个怪人！上次好象也让你找过东西。

9) 桜が六分咲きですって、九段の一。観に行きませんか？一緒に連れてっていただきたいんですの。

听说樱花已经开了一大半，九段那里的……不去看看？想让您带我一块儿去。

- 10) 居たら、こっちへ回ってもらって、二人で二階をみせていただきますよう。
要是还在，让他拐到这里来，好俩人一起上二楼看看。
- 11) いらっしゃるの知ってましたら、わたしも連れて行っていただくんですしたのに。
要是知道去看烟花，也叫他带我去好了！
- 12) その気持を克平に解ってもらうことは難しいと思った。
她觉得很难使克平理解自己的心情。

上の中国語文を見てみると、使役意味を持つ「让，叫，使」⁵が含まれることが分かり、直訳で日本語に訳されると、使役文になってしまう。使役文で表現する場合は、「さがす」、「連れて行く」、「回る」、「解る」といった行為はそもそも話し手（或いは話題者）の行為ではなく、他人動作であるものの、話し手はその行為の発生を要求したり、許可したりすることで、その動作ができるように働きかけるのである。その結果、話し手（或いは話題者）の要求、許可のおかげで他人の行為が実現できるようになる。もしその行為で他人がプラスの利益を得るとしたら、恩恵方向性と言え、話し手（内）から他人（外）へと、或いは話題者（外）から他人（外）へと移動するのである。このように、他人に対して、強制的なイメージだけでなく、さらに恩着せがましい感じも与えることになるかもしれない。その一方、もしその行為で他人がマイナスの利益を被るとすると、話し手（内）から他人（外）へと、或いは話題者（外）から他人（外）へと移動するのは、恩恵でなく、被害になってしまうのである。とにかく、使役文は人に不愉快な感じをもたらすことが分かった。

しかし、日本語的な表現なら、同じ意味を表すとしても、中国語と異なって、使役文を使わなく、「～てもら」の授受表現で述べるのは極普通である。以上の例のように、「～てもら」を使うと、他人（外）から話し手（内）へと、または、他人（外）から話題者（外）へと恩恵が逆に移動することになるのである。このように、恩恵方向性の転換によって、他人が与え手になるから、恩恵のやりとりがある場合でも、人に恩着せがましい感じを与えなくなる。そして、たとえ被害が出てきても、自分（或いは話題者）の要求に応じてくれるため、被害に遭ってしまったので、その人に対して同情、または詫びたい気持ちが伝えられる。このように、他人のことを思いやって考えているからこそ、不愉快にさせないで済むと思われる。

以上の分析から見ると、日本語は、相手のことを思いやるために、恩恵方向性を巧みに転換するが、中国語は、そういう思いやりを全然考えずに、恩恵方向性を変えるということは全くなく、ただ思った通りに率直に言い出すものであるということが分かるのである。

4、「～てください」という命令文から「～てもら」へと

- 13) 是非聞いていただきたいんです。
务必请您听一下。
- 14) まあ、しばらく、がまんしてもらうんだな。
那么，请你暂时忍耐些吧。

15) 会議を開いて結論を出すまでは、待機していてもらいたい。

总之，在开会得出结论之前，得请你们稍等一下。

16) 預かるときの条件だから必ず守ってもらいたい。

因为这是存放时说好的条件，请务必遵守。

17) 御苦労だろうが、この命令は実行に移してもらわなければいかんよ。

虽然很辛苦，但务必请你执行这个命令。

18) すると、八千代は、「わがまま言ってすみません。やっぱりホテルまで送っていただき

ますわ」そうきっぱり言って、

“还是要请您送我回饭店——对不起，瞧我这么任性。”八千代说得很干脆，

以上の中国語文には「请」があるので、文字通りに日本語に訳されると、「～てください」の命令文になるのである。3 の場合と大体同じように、「聞く」、「がまんする」、「待機する」などの行為を行うのは話し手ではなく、相手であり、その行為を実現させるように、話し手がただ命令の言い方で相手を促すのである。従って、その行為で相手が恩恵を得るなら、話し手のおかげであるから、無論、恩恵が話し手（内）から相手（外）へといくことになる。しかし、この言い方は命令文であるので、相手に強制的かつ偉そうな感じを与えるため、恩恵のやりとりがあったら、さらに、恩着せがましいイメージをもたらしてしまう。それに対して、日本的な表現では、同じ意味のものを表しても、中国語と違って、命令文を避けて、「～てもらおう」を用いるのである。こうして、恩恵方向が相手（外）から話し手（内）へと移動するように逆に変ったのである。従って、相手が授恵者になり、その恩着せがましい感じも一切なくなった。

また、その行為のせいで相手が被害を被ってしまう場合では、3 で分析したように、中国語が命令文のせいで相手に不愉快な思いをさせるのと異なって、日本語が「～てもらおう」で恩恵内外方向性を変えることによって、相手の被害に対して、同情或いは詫びる気持ちを伝えるから、その思いやりで相手を慰めるのである。

このように、授受関係を述べる際に、日本語は恩恵内外方向性の転換を持つのに対して、中国語にはそれがないのである。

5、動詞の直接命令文から「～てくれ」へと

19) 窓をしめてくれ。

把窗户关上。

20) よし、じゃあ、これを読み上げてみてくれ。

好咧，念给我听听！

21) 待ってくれ。山崎と七尾を入れ替えてもらおうか。

等等。把山崎和七尾调换过来。

22) 「酒井さんが見えた。応接間にお通ししておいたよ」それから、彼は、「玄関のバケツを

片付けておいてくれ」そう言ってから、もう一度身体を洗うために浴室の方へ歩いて

行った。

“酒井君来了，我已让到客厅去了。”继而，“快把大门口的水桶收拾起来！”说完，朝浴室走去。他要再洗一次澡。

23) 「銀座へ行ってくれ、そこで降りるよ」と言った。

“开去银座，在那里下。”

この場合においては、恩恵方向性の転換は、上の 4 の場合とほぼ同様である。中国語文を直訳で日本語に訳せば、動詞の直接命令文になってしまう。例えば、「把窗户关上」、「念给我听听」、「等等」、「快把大门口的水桶收拾起来」、「开去银座」はそれぞれ訳されるなら、「窓を閉めろ」、「これを読み上げてみろ」、「待て」、「玄関のバケツを片付けておけ」、「銀座へ行け」である。こういう命令文がもともと相手に強制的な感じをかなり強くもたらすため、恩恵のやりとりがあり、恩恵が話し手（内）から相手（外）まで移動するとしたら、人に恩着せがましく感じさせてしまう。もしその偉そうな命令のせいで相手が何かの被害に遭ったとすれば、その命令に対する不満が一層深刻になってしまい、人間関係もますます悪くなってしまいうだろう。

しかし、人間関係を大事にする日本語は、絶対にそのような事を起こさないのである。そして、命令文で同じ意味を言い出しても、日本語は直接の命令文ではなく、方向性を持つ授受命令文——「～てくれ」を選んだ。「～てくれ」は、直接の命令文と同じように命令文であるものの、相手に自分（話し手）のために何かをさせるという意味を持つから、相手（外）から自分（内）へと恩恵が移動するとの方向性を表せる。従って、「～てくれ」を用いる日本語は、本来の内から外への恩恵方向性を逆に変えるが、いくら命令文であっても、相手が授受者になるから、恩着せがましく感じないのみならず、被害に遭っても、話し手からの思いやりが感じられるから、不愉快または不満もだんだん軽くなるのであろう。

三、終わり

以上、日中両国語における恩恵方向性の転換を五つの部分から比べて考察してきたが、その異同を表で比較してみると、次のようである。

表 日中両国語における恩恵方向性の転換の異同

共通点	無		
相違点	日本語	方向性の転換	有
		転換の仕方	「～てあげる/さしあげる」→使役態+授受補助動詞 「～する/いたす」→使役態+授受補助動詞 使役文 → 授受補助動詞 命令文 → 授受補助動詞
	中国	方向性の転換	無

	語	転換の仕方	_____
--	---	-------	-------

上の表から見れば、授受関係を表現する際に、恩恵方向性の転換は、日本語にたくさん用いられているのに対し、中国語にはほとんど見られないということが明らかになってきた。

日本語では恩恵方向性の転換がよく使われるのは、日本人社会では人間関係を重んじる思いやりの意識が極普通であるからだろう。こういう点では、中国人は相手に恩着せがましい感じ、あるいは強制的な感じを与える本意がないかもしれないが、いつも率直に、また話し手の思い通りに客観的に言い出すのが普通のようなのである。その原因は思いやりの発想が中国人の頭にあまり入っていないのではないかと思う。

『日本人の感情世界』⁶で述べたように、日本では、人が所属する内集団が「すべてであり、最も大切な場」と思われるが、集団に比べれば、個々はかなり軽い存在であるから、日本人は、集団内部の和を保つために、仲間との人間関係をスムーズにしなければならないと思われる。従って、自分のことはどうでもいいが、まず仲間のことを先に思いやって考えて、その集団を和やかにする日本人は大勢いるのである。

『広辞苑』⁷によると、「思いやり」とは「自分の身に比べて人の身について思うこと、相手の立場や気持ちを理解しようとする心」と言われている。確かに日本人との付き合いが深く進むにつれて、思いやりの素晴らしさに感動された学習者は少なくないようである。特に中国語で言いにくい場合では、日本語の思いやりの言い方を通して、自分の意見が伝えられるだけでなく、相手も慰められるのである。とにかく、相手の気持ちを察しながら、その立場に立って話を進める日本人の思いやりは、独特な発想であるとともに、人間関係を非常に重んじる一つの証でもあると言える。

注釈

- 1、『福井工業大学研究紀要』第39号 2009 ISSN 0286-8571 pp. 467-474
- 2、企画・開発機関 北京日本学研究中心 研究代表者 徐一平 馮志偉 嚴安生 収録内容 中国 23篇、日本 22篇とその訳本を合わせて 105件 2003年7月
- 3、() の内容は中国語文が直訳された日本語の訳文である。
- 4、張林 「試析「～(さ)せていただく」」 pp. 8-9 《日语知识》2005. 11
- 5、『現代汉语词典』によると、「让、叫、使」は人に何かの要求を出し、その要求に従って何かをさせるという強制的（或いは使令的）な意味を表すというのである。
- 6、ディビット・マツモト・工藤力 著 『日本人の感情世界』 pp. 3-5, pp. 60-64, pp. 164-171 誠信書房 1997年発行
- 7、新村出版 p. 404 岩波書店 1998年11月11日 第五版

例文の出所

- 1) 《新編日本語2》p. 326 周平 陳小芬 編 上海外国語教育出版社 2002年10月第22版
- 2) 《日语学习与研究》1989. 2 p. 37 《日语学习与研究》編集委員会
- 3) 『中日対訳コーパス』に載った『雪国』

- 4)-5) 『中日対訳コーパス』に載った『砂の女』
- 6) 『中日対訳コーパス』に載った『あした来る人』
- 7) 『中日対訳コーパス』に載った『越前竹人形』
- 8)-13) 『中日対訳コーパス』に載った『あした来る人』
- 14) 『中日対訳コーパス』に載った『砂の女』
- 15)-17) 『中日対訳コーパス』に載った『黒い雨』
- 18) 『中日対訳コーパス』に載った『あした来る人』
- 19)-23) 『中日対訳コーパス』に載った『あした来る人』

参考文献

- 1、『中日対訳コーパス』に載った『雪国』、『あした来る人』、『越前竹人形』、『黒い雨』、『砂の女』
- 2、周平 陳小芬 編 『新編日本語 2』 上海外国語教育出版社 2002年10月第22版
- 3、新村出版『広辞苑』 岩波書店 1998年11月11日 第五版
- 4、中国社会科学院言語研究所詞典編集室 編 『現代漢語詞典』 p. 1609, p. 979, p. 1577, p. 1749 外語教学与研究出版社 2002年増補本
- 5、ディビット・マツモト・工藤力 著 『日本人の感情世界』 pp. 3-5, pp. 60-64, pp. 164-171 誠信書房 1997年発行
- 6、《日語学习与研究》編集委員会 《日語学习与研究》1989(2) p. 37
- 7、大連外国学院 編 『日語知识』2005(11) pp. 8-9

(平成23年3月31日受理)